

18文議第976号

平成18年12月8日

文京区議会議員 殿

文京区議会議長 成澤 廣修

要望書について（通知）

次のとおり、ウイルス性肝炎問題の早期解決を求める要望を行いましたので、御通知いたします。

写

ウイルス性肝炎問題の早期解決を求める要望書

我が国には、数百万人の単位でB型・C型肝炎患者が存在すると推定され、しかも、その感染経路は、輸血、血液製剤の投与、予防接種における針・筒の不交換などの不適切な医療行為によるものと言われています。

本年6月16日に最高裁判所は、集団予防接種によるB型肝炎ウイルス感染被害者が、国を被告として損害賠償を求めた訴訟において、国の行政責任を認めました。また、C型肝炎についても、血液製剤の投与によるC型肝炎ウイルス感染被害者が国と製薬企業を被告として損害賠償を求めた薬害肝炎訴訟において、大阪地方裁判所と福岡地方裁判所は国と製薬企業の責任を一部認めています。

B型、C型肝炎は、慢性肝炎から肝硬変、肝臓がんに移行する危険性の高い深刻な病気であるうえに、感染者に対して、就労・就学など様々な面で社会的差別や偏見があり、速やかに適切な対策を講ずることが求められています。

よって、文京区議会は、政府並びに国会に対し、下記事項を実現するよう強く要望いたします。

記

- 1 薬害肝炎訴訟を直ちに終結し、適切な賠償を実施すること。
- 2 フィブリノゲン製剤及び血液凝固第IX因子製剤を納入した全医療機関に対して患者の追跡調査を指示し、特定された患者に対して、投与事実の告知と感染検査の勧奨を指導し、その結果を速やかに公表すること。
- 3 集団予防接種の被害実態調査を行い、適切な対応を取ること。
- 4 ウイルス検診体制の拡充と検査費用の負担軽減をすること。
- 5 ウイルス性肝炎の治療体制の整備、とりわけ治療の地域格差の解消に努めること。
- 6 ウイルス性肝炎治療の医療費援助、及び治療中の生活支援策を実施すること。
- 7 ウイルスキャリアに対する偏見・差別を一掃すること。

平成18年12月8日

文京区議会議長 成澤 廣修

内閣総理大臣	安 倍 晋 三	様
厚生労働大臣	柳 澤 伯 夫	様
衆議院議長	河 野 洋 平	様
参議院議長	扇 千 景	様